

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 21,000~22,000円 TOPIX 1,570~1,620  
 \* 期待材料 IoT社会の実現 IoT、AI活用による生産性改善 5G時代の到来  
 \* 不安材料 地政学的リスク 貿易摩擦激化 中国経済の成長鈍化 欧州経済の減速

米国ではFRBのハト派転換にとどまらず、利下げ観測まで盛り上がり、リスク許容度が高まることでPERの上昇を伴って株価が上昇していくゴルディロックス相場が復活。米S&P500の19年予想PERは4月8日時点で17.4倍となり、昨年10月9日以来の水準まで上昇してきた。ただ、米国経済は金利低下に伴い住宅市場が下支えされ、雇用市場も堅調に推移しており、年内にFRBが利下げを実施する可能性は低いものと思われる。4月10日時点でFF金利先物市場では年内に利下げが行われる可能性を56%で織り込み、長期金利は2.46%と18年1月以来の低水準で推移しているが、今後、良好な経済指標が出てくることで利下げ観測が後退し、金利は上昇していく展開が見込まれる。これまでのゴルディロックス相場は、金利の上昇によりPERが低下することで株価が大きく下落し、終息する展開が繰り返されており、今回も金利上昇がきっかけとなり、米国株が急変する可能性があるものと思われ注意したい。日本の株式市場では、中国の景況感改善を材料に半導体やロボット、FA関連の戻りが目立っているが、19年は5G(第5世代移動通信システム)に絡んだハイテク投資の端境期となり、スマートフォンなどハイテク製品の需要は18年比で一段と低下する可能性が高く、半導体やFA、ロボットに対する需要の盛り上がりを期待するのは難しいものと思われる。ハイテク製品の需要底割れはないと見られるが、回復も緩慢なものとなるため、期待先行の株価は反落リスクが高いものと思われ警戒したい。(4月11日現在、松本 直志)

## 今週の予定

	国内	海外
4/15 (月)	LIXIL G(5938)臨時株主総会の基準日 ベルク(9974)本決算	[北朝鮮]故金日成主席誕生日 [米]日米物品貿易協定交渉初会合(~16日)
16 (火)	2月第三次産業活動指数(13:30) 小林喜光経済同友会代表幹事会見 ブロンコビリー(3091)1Q決算(15:00)	[中]上海モーターショー(~25日) [独]4月ZEW景況感調査(18:00) [米]3月鉱工業生産(22:15)
17 (水)	3月貿易統計(8:50) 石油製品価格調査 第5回国際ドローン展(~19日) TECHNO-FRONTIER 2019(~19日) 交通インフラWEEK2019(~19日) 第1回つながる工場推進展(~19日) 日本美容外科学会(~18日)	[インドネシア]大統領選・総選挙 [米]ニューヨーク国際自動車ショー(~28日) [中]3月鉱工業生産(11:00) [中]3月小売売上高(11:00) [中]3月固定資産投資(11:00) [中]1-3月GDP(11:00) [米]2月貿易収支(21:30)
18 (木)	在宅医療展2019(~20日) 看護未来展2019(~20日) 日本眼科学会総会	[米]3月小売売上高(21:30) [中]休場(~19日) [米]ニューヨーク債券市場短縮取引
19(金)	3月全国CPI(8:30) KOA(6999)本決算	[米]3月住宅着工件数(21:30) [米]休場グッドフライデー
20(土)	第2回年賀状お年玉くじの抽せん	[米]INTEROPラスベガス(~23日)
21(日)	衆院大阪12区、沖縄3区の両補欠選挙	[ウクライナ]大統領選挙決選投票

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

### マニー (7730) 東証1部



	17年8月期 (百万円) 前年比		18年8月期 (百万円) 前年比		19年8月期(予) (百万円) 前年比		株価(4/11)	5,770 円
売上高	17,167	3.7%	20,102	17.1%	18,737	-6.8%	業種	精密機器
営業利益	4,261	0.4%	5,080	19.2%	5,729	12.8%	売買単位	100 株
経常利益	4,624	14.1%	5,221	12.9%	5,695	9.1%	PER(予想)	31.7 倍
当期純利益	3,315	10.3%	3,770	13.7%	5,976	58.5%	PBR(実績)	5.4 倍
EPS(円)	101.1		114.9		182.1		ROE(実績)	11.8 %
配当金(円)	34.0		42.0		60.0		配当利回り(予想)	1.0 %
							担当	多功 毅

出所：業績に関する数値は決算短信より

手術用縫合針や眼科ナイフなどで高シェア。高機能製品が強みで、高い収益性を誇る。

2Q 累計決算は独シュッツデンタル社売却により 1,255 百万円の減収、46 百万円の営業減益要因となったものの、サージカル関連製品(針付縫合糸、眼科ナイフ、眼科トロカール、骨用のこぎりなど)、アイレス針関連製品(アイレス縫合針、アイド縫合針)、シュッツデンタルを除くデンタル関連製品がそれぞれ好調に推移したことで、前年同期比 5.9%減収、21.4%営業増益で着地。計画対比については、売上高はほぼ計画線での着地となったが、営業利益については売上が好調に推移したことで販売関連費用の抑制が想定より進み 6.8%の上振れ着地となっている。サージカル関連製品においては、製品に対する高評価を背景に収益性も高い眼科ナイフが、国内外で好調に推移したことに加えて、眼科トロカールも堅調に推移。また、ベトナムへの生産移管が進んだことも収益性改善に寄与した。アイレス針関連製品においては、需要が好調に推移するなか、ベトナム新工場稼働による供給能力の拡大及び生産効率改善が貢献している。デンタルについてもベトナム生産移管効果が増益に寄与。2Q 決算発表時点では通期計画を据え置いているが、会社側は下期に関しても好調であった上期のトレンドでの推移を見込むとしており、2Q まで好調な業績推移を踏まえると上振れ着地が期待される。

来期以降についても、眼科ナイフや工場増設によるキャパ拡大が寄与するアイレス針の拡販及びベトナム新工場の生産効率改善により、増益基調の継続が期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(4/11)	コメント
<b>あみやき亭</b> (2753) 東証1部 3,380円	前期決算は、既存店売上高が1%減、人件費を中心に各種コスト上昇の影響が大きく前年同期比1.6%増収、8.7%営業減益で着地。今期については焼肉業態既存店売上高を0.8%減、焼鳥業態で0.4%増としたうえで、引き続き人件費、運送費などのコスト上昇を見込むことで3.5%増収、12.5%営業減益を計画。ホルモン焼きの人気店を運営する杉江商事をグループ化し、2Qからフル連結スタート。今後もM&Aは継続の意向。(多功 毅)
<b>あさひ</b> (3333) 東証1部 1,344円	前期決算は、電動アシスト自転車、スポーツ自転車などの高単価品が既存店をけん引。加えてパーツ・工賃売上高が好調に推移したことで粗利益率も向上。人件費上昇は広告宣伝手法の見直しなどでカバーし前年同期比7.2%増収、14.3%営業増益。今期については既存店を2.8%増としたうえで、相対的に粗利益率が低い電動自転車の一段の拡大による粗利益率悪化を見込み前年同期比6.5%増収、7.3%営業増益を計画。(多功 毅)
<b>RS テクノロジーズ</b> (3445) 東証1部 3,275円	再生ウエハの数量増及び価格上昇効果に加えて、新規に連結した中国の200mmウエハメーカーの上乗せ及び歩留り改善効果により前年同期比133.1%増収、92.8%営業増益での着地。今期は、半導体市場の調整に伴う単価下落を見込む一方、再生ウエハの生産能力増強効果、200mmウエハの歩留り改善などを織り込み12.6%増収、3.8%営業増益計画。中計においては再生ウエハ及び200mmウエハの数量増効果により22年12月期に売上高338億円、営業利益83億円を計画。(多功 毅)
<b>ポールHD</b> (3657) 東証1部 1,024円	19年1月期決算は前年同期比6.7%増収、40.5%営業増益。海外のゲームデバッグ事業で収益性改善が進んだことや、ネットサポート事業の拡大が貢献し大幅増益を達成。ネットサポート事業では、ECの出品物チェックなどの既存案件に加えて、AIの品質向上のためのデータクレンジング、QR決済の認証チェックなど新サービスの需要も拡大。今期は前年同期比10.3%増収、0.5%営業増益計画。海外デバッグ事業でマーケティング投資や営業人員の増強、ネットサポート事業でのAI活用に向けた研究開発投資などにより利益は横ばい見込み。(松本 直志)
<b>クリーク&amp; リバー社</b> (4763) 東証1部 1,329円	19年2月期決算は前年同期比10.7%増収、12.6%営業減益。本社移転費用が重く減益になったが、映像、ゲーム、Webなどクリエイティブ分野の派遣・請負事業中心に売上は順調に拡大し、4Qは過去最高の売上を更新。今期は前年同期比11.6%増収、48.8%営業増益計画。クリエイティブ分野など派遣・請負の旺盛な需要を取り込むとともに、本社移転費用の減少や新規事業の黒字化、新規サービスの赤字縮小で増収増益計画。(松本 直志)
<b>鎌倉新書</b> (6184) 東証1部 1,362円	19年1月期決算は前年同期比46.5%増収、83.7%営業増益。お墓、葬祭、仏壇のポータルサイトから、掲載顧客企業への送客が順調に拡大。掲載先の開拓やSEO対策、お墓などの利用者に対するセールス強化なども売上拡大に寄与。会社の知名度上昇に伴い人員の直接採用や社員紹介採用が進み、採用費を抑制しながら売上を伸ばすことができた。今期は前年同期比34.2%増収、7.5%営業増益計画。相続、介護、健康、墓じまい、看取りなど新規事業やマーケティングへの投資を増やすことで、増益率は大きく鈍化する見込み。(松本 直志)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室